



美谷 芳昭

- 一、能勢(地域)の活性化について
- 二、新しい火葬場の建設について
- 三、有害鳥獣対策について

◎能勢(地域)の活性化について

**問** 人口減少を食い止める観点から、市街化調整区域を見直し、町外から新規移住者が住めるようにすべきと思うがどうか

**答** 将来の街づくりの観点から大いに議論すべきと考えている。

**問** 現在、小中学校の統廃合問題は学校教育検討委員会で検討中、特に小学校が統廃合されれば、地域は火の消えたようになり活性化に逆行すると思うが、見解は。

**答** 極度の児童・生徒数の減少で入学を躊躇している親もいる。教育環境の確保のためには、むしろ最低限度の子どもを有する学級、学校でなかったらと思う。

**問** 住みやすい街づくりのため、町道の拡幅整備、下水道整備等インフラ整備が必要と思うが、見解は。

**答** インフラ整備は一番必要な公的施設、期間や財政上の問題もあるが、特に下水道整備は着実に進めていきたい。

◎新しい火葬場の建設について

**問** 現在の候補地の交渉状況及び、タイムリミットはいつまでか。

**答** 候補地内の、一部理解をいただけていない方に働きかけ中、いずれにしても本年夏ごろには結論を出す予定である。

**問** 火葬件数の現状は、町内、町外半々であり、町で単独に建設せず、一定の負担をしてでも、近隣市町村の公営火葬場を使用させてもらう方法も検討したのか。

**答** 検討はせず、現在は好意でお願いしているものであつて、やはり責任ある自治体として本町単独で建設したい。

**問** 町民は早期にこの問題の解決を切望しているが、町長の決意はどうか。

**答** 私の任期内に、責任をもって、場所の決定をすることが私の最大の使命だと思つている。

**◎有害鳥獣対策について**

**問** 被害防止策として、檻わなの捕獲許可を町長から区長に権限を下ろしたら、

より効率的に捕獲が出来ると思うがその考えはあるか。

**答** 現在は簡単に講習で許可が取れるようになってきているが、この件、一度検討をする必要がある。

**問** 鳥獣被害防止法で、鳥獣の買い上げ費が措置されるため、例えば1頭当たり5000円程度で買い上げたら、捕獲頭数が増加すると思われるが見解は。

**答** 買い上げが果たして有効な手段になるかどうか研究したい。

**問** 国や府の補助制度を利用して、この対策に真剣に取り組まないで、今後農産物が壊滅的な打撃を受け、農業意欲の減退と遊休農地が増加する。そこで、町の組織に、捕獲、防衛、買上げ、埋設、焼却処分、肉の加工から販売までの事務を所管する「有害鳥獣対策課」なるものを設置して、被害の減少に努めるべきだが。

**答** 現在は担当者を配置してあるが、提言が実現するよう部署の充実を図り、最大の対策をしていきたい。

一般質問



谷 義樹

- 一、観光情報誌について
- 二、郷土資料について
- 三、議会の活性化について

①観光情報誌について

**問** 発行の目的は？

**答** 能勢町の持つ魅力をPRすることで、交流人口の促進を図りたい。

**問** 事業主体は能勢町観光協会になつていますが、町はどの程度関わるのか？

**答** 制作は編集委員会が進めるが、観光協会・編集委員会・委託する専門業者等との各種調整は、事務局を担つている、町が関わつていく。

**問** 観光資源の抽出、掲載記事の地域バランスをどのように考えているか？

**答** たんなる歴史の編さんでなく、能勢町の何をアピールするかに重きを置く。従つて記事や地域のバランスは考えていない。

**問** 発行までのスケジュールは？

**答** 7月に業者を公募し、8月に決定。その後取材と編集に入り、3月中旬

発行を目指す。

**問** 本年度、鳴り物入りで取り組む事業なのに、発行が年度末というのはどうにかならないか？

**答** できるだけ早い時期に発行できるように、早く準備に取りかかりたい。

②郷土資料について

**問** 埋蔵文化財・歴史資料の保管はどうなっているか？

**答** 文化財調査室と、旧農林技術センターで保管している。

**問** 活用しなければ保管する意味がない。展示や公開の予定は？

**答** 展示場所の問題もあり、保管のみになつていく。

**問** 昔能勢町で、郷土資料館建設の動きがあり、その資金の一部にと、能勢郷土史研究会で積立が始まつたと聞く。資料館建設計画はどうなつたか？

**答** 能勢の貴重な資料が

ばらばらに置かれていくのは忍びない。歴史資料館として、必要のなくなった施設の再利用等を考えていきたい。

③議会の活性化について

**問** 議会基本条例制定の動きが活発になつて来ているが、どう思うか？

**答** 住民に開かれた議会、住民とともに歩む議会、住民に信頼された活力ある議会実現のため、議会が決定されるなら、大いに協力していきたい。

**問** その中では、住民参加という考えが重要視されている、どう思うか？

**答** 議会の傍聴だけでなく、いろんな分野で住民参加を頂くことは、協働のまちづくりを進める能勢町にとって、願つてもないことと思つている。